



奄美市立住用中学校

絆

『学び』で可能性の扉を開く住用中

令和8年度
学校だより No.5
令和8年8月28日

実りの秋へ、一人一人が輝く2学期に

校長 木場敏朗

例年以上の厳しい暑さが続いた夏休みが明け、校舎に生徒たちの元気な笑顔と活気が戻ってきます。大きな事故や病気の報告もなく、全員が無事に充実した夏休みを過ごし、たくましく成長した姿で2学期のスタートを迎えられることを、何より嬉しく思います。御家庭や地域の皆様の御協力・見守りに心より感謝申し上げます。

2学期は、年間の中で最も長く、行事も目白押しの季節です。文化祭（学習発表会）やふるさと体験学習といった学校行事をはじめ、日々の学習の深まりや体験活動の充実など、生徒一人一人が自分の可能性を伸ばす絶好の機会にあふれています。

行事や日々の学校生活の中で大切にしてほしいのは、「目標に向かって仲間と協力し、一步踏み出すこと」です。成功体験はもちろんのこと、時には思い通りにいかない葛藤や失敗を経験することもあります。しかし、それらを乗り越えたプロセスこそが、一生の糧となる大きな成長へとつながります。

○ 1年生：中学校生活にも慣れ、自分の役割と責任を意識しながら、更なる成長を目指す時期です。

○ 3年生：自分の進路と真剣に向き合い、夢や目標の実現に向けて着実に努力を積み重ねる時期です。

それぞれの学年が置かれた立場で力を発揮し、お互いを認め合い、高め合える住用中学校でありたいと考えています。

生徒たちが安心して学校生活を送り、自分の力を存分に発揮できるよう、教職員一丸となって一人一人に寄り添った指導・支援に努めてまいります。

2学期も、本校の教育活動への変わらぬ御理解と御支援、そして温かい御声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学校評議員会



7月8日(木)に、学校評議員会が行われました。評議員は、保護者や地域住民の意向を反映し、地域ぐるみでの教育活動を充実するため置かれています。今年度の評議員は河野幸代さん、栄和美さん、織田友輔さん、井上久彰さんです。

河野さんは民生委員を兼ねていらっしゃるため、今回は欠席されましたが、栄さん、織田さん、井上さんに一学期の学校生活や本年度の教育活動について説明を行い助言をいただきました。

民生委員訪問



7月13日(月)に、民生委員による学校訪問がありました。住用町には8名の民生委員の方がいて、地域で困った人の支援や地域と学校の間をつないでくださる存在です。

学校の教育活動について説明させていただいた後、授業参観を通して、生徒たちの生き生きとした活動の様子を見ていただきました。

1年生の数学では、南郷先生の授業に「私も受けてみたい」などの声が聞かれました。大人になっても学ぶことの楽しさを感じている様子に、子供たちも励みになったのではないかと思います。

学校評価の状況

Ⅰ学期末に、生徒と保護者向けに学校評価を実施した集計結果について、お知らせします。

それぞれの項目ごとに5段階で評価しました。

生徒は「(6)生活リズム」、保護者は「(7)学習の積極性」や「(8)読書の取組み」に課題を感じているようです。

今後、学校でも課題解決に向けて、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

対象	生徒	保護者
(1) 友達の意見や個性を大切にし、お互いに思いやりを持って過ごせましたか。	4.3	4.5
(2) 行事や部活動、日頃の生活の中で、自分の良いところや成長を実感できましたか。	4.0	3.5
(3) 授業の中で「なるほど!」「もっと知りたい!」と思える場面がありましたか。	3.8	3.5
(4) 授業や家庭学習で、疑問に思ったことを自分で調べたり、進んで発表したりできましたか。	3.0	2.5
(5) 毎時間の振り返りカードなどを通して、自分の苦手なところや目標がハッキリ分かりましたか。	3.5	3.5
(6) 早寝早起きや朝ごはん、スマホの時間など、健康的な生活リズムを意識できましたか。	2.8	4.0
(7) 「SUMIYOU de DREAM」などの活動を通して、自分の将来の夢や進路について考えることができましたか。	3.5	3.0
(8) 週4日の朝読書の時間に集中して取り組み、本に親しむことができましたか。	3.3	2.5
(9) 先生や友達、地域の人に対して、自分から明るく気持ちの良いあいさつができましたか。	4.3	3.0
(10) 総合的な学習の時間「絆」などを通して、住用の伝統芸能や文化の素晴らしさを学びましたか。	4.0	4.0
全体平均	3.6	3.4

全国学力・学習状況調査の状況

	国語	数学	英語
	正答率	正答率	IRT スコア
鹿児島県	62.0	52.0	476
全国	63.9	57.0	499

4月に行われた3年生の全国学力学習状況調査の結果が公表されました。今年度は3年生が1人ですので、本校の数値は開示しませんが、県や全国の状況をお知らせします。

上段には、国語、数学の正答率を示しています。英語でのIRTスコアは耳慣れない言葉ですが、より正確に生徒の学力を表すと期待される値です。鹿児島県の476は全国より23ポイント下回っていることを示しています。

下段は同時に行われたアンケートの状況です。全国や県の状況を知ることができます。今後の学校での取組に生かしていきます。

全国と県のスコア差が大きい項目（上位8項目）

No.	質問事項	全国	県
1	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動を行いましたか	2.8	3.0
2	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか	2.9	3.0
3	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動を行いましたか	3.0	3.1
4	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	3.2	3.4
5	調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	3.3	3.2
6	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	3.1	3.2
7	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、根拠を明確にして生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか	3.4	3.3
8	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動を行いましたか	3.0	3.1